

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【歴史博物館、旧新潟税関庁舎等】

施設名	新潟市歴史博物館、旧新潟税関庁舎等		
管理者名	(公財) 新潟市芸術文化振興財団	指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
担当課	歴史文化課		
所在地	新潟市中央区柳島町2-10ほか		
根拠法令	博物館法、文化財保護法		
設置条例	新潟市歴史博物館条例、旧新潟税関庁舎等管理条例		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市歴史博物館 敷地面積 22,769.23㎡(旧新潟税関庁舎等含む) 施設 博物館本館(延床面積5,508.30㎡)：常設展示室、企画展示室、体験の広場 他 登録有形文化財旧第四銀行住吉町支店(延床面積919.50㎡) 屋外施設：広場、堀、園路、駐車場他 ・旧新潟税関庁舎等 施設 重要文化財旧新潟税関庁舎(延床面積393.38㎡)、石庫、史跡旧新潟税関 		

施設設置目的
新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めるとともに、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与することを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>1. 基本理念 資料の収集・保存や調査・研究によって新潟市の歴史的特性を明らかにし、展示や普及活動を通じて情報を発信する。そして、市民とともに地域認識を深め、市民に歴史や文化を題材とした多様な活動の機会や場を提供する。また、市民や利用者が、地域や博物館の情報や歴史資料に対して抱く疑問や意見について受け止め、博物館を市民や利用者との情報交換や交流を通じて新たな歴史を発見する場とする。</p> <p>2. 管理運営方針 ①新潟市域の歴史的特性を明らかにする。 ②市民の歴史に対する理解を深める。 ③歴史を媒介とした市民交流を行う。 ④市民の文化的・歴史的活動に寄与する。 ⑤文化財を保存・活用する。</p>

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	年間入館者数	博物館本館への年間入館者数70,000人以上	87,097人	A	
		館オリジナルの企画展を年4本以上実施	6本	A	自主事業の企画展を1本追加し、入館者数増を図った
	調査・研究の成果	歴史に関する講演・講座等を年40回以上実施	88回	A	
		体験プログラムを年55件以上実施	78件	A	
		展示図録を年2回以上発行	2回	B	「にいがたの中世」展、「大河津分水」展の図録を発行した
		研究紀要を年1回発行	1回	B	
		施設普及事業の実施	収蔵資料の公開を年3回以上実施	11回	A
		近隣地域と連携した普及活動を年3回以上実施	2回	C	予定していた「堀とさくらのコンサート」、「夕涼みコンサート」はコロナ禍の影響で実施できなかったものの、新規で「クリスマスコンサート」を実施した

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
	学校との連携	施設訪問への対応や出前授業・講義など、各種学校との連携事業を年90回以上実施	138回	A	
	歴史文化事業の情報発信	ホームページ等を月4回以上更新し、情報発信を行う	ツイッターのみで270回	A	日々情報発信に努めている
		博物館ニュースを年3回以上発行	3回	B	
	来館者アンケート満足度	来館者に対するアンケートで、「良い」「とても良い」が70%以上	96%	A	
	歴史を媒体とした市民活動の場の提供	市民ボランティアスタッフの活動する機会を年100回以上	154回	A	
	苦情・要望に対する対応	来館者からの苦情・要望に対して、3営業日以内に回答	都度迅速に対応	B	
	その他	博物館ファンクラブ会員数を140人以上	R5.3月時点116人	C	各種講座等で周知を図り努力しているものの、目標を達成できなかった。
博物館ファンクラブ会員の活動件数を年7件以上実施		8回	A		
財 務	管理経費の縮減	管理経費を指定管理料年度協定額（管理費）以下	協定額： 214,745,687円 管理費： 214,310,891円	B	光熱費が高騰したため、今まで以上に節電等に努めた
	市の歳入の安定確保	歴史文化事業費の執行額に占める観覧料等収入の割合35%以上	75.60%	A	
業 務	他施設・機関との連携	市関連機関・団体との情報共有の会議を年1回実施	3/2開催	B	
	日常連絡の適切さ	市への連絡訪問を月6回以上実施	月6回以上実施	B	
		3か月毎の管理業状況報告の期限内提出	期限内に提出	B	
	安全確保体制の確立	防火管理者の選任及び防災訓練を年2回以上実施	年2回（6/17・3/17）実施	B	
	文化財の適正な管理	条例、規則、協定に基づく適正な管理の実施	実施した	B	
		旧新潟税関庁舎等管理条例施行規則に基づく監守業務の適正な実施	実施した	B	
	歴史資料の適正な収集保存管理	施設内でのくん蒸を年1回以上実施	①6/26～6/28に実施 ②11/20～11/22に実施	A	資料が良好な状態を保てるよう管理した
		展示室収蔵庫内の温湿度の定期調査を実施	毎日実施	B	
		文化財害虫の定期調査を実施	定期的に実施	B	
	施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の年1回実施	3/24に実施	B	
施設設備関係の各種法定点検の確実実施		建築物における衛生的環境の確保にかかる法律、消防法等にかかる法定点検を実施	B		
事件・事故発生時の対応の適切さ	マニュアル・連絡網の定期的な見直し（半期に1回）	都度更新	B		
業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B		
人 材	配置人員条件の充足	学芸員有資格者を8人以上配置	9名（3/31現在）	A	指標を上回る人員を配置している。
	職員研修の実施	専門員及び事務職員に対する研修を年4回以上実施	11回（コンプライアンス研修含む）	A	
	接遇マナーの維持・向上	受付職員等への接遇研修を年1回以上実施	3月に研修用CDを配布し、各自が受講した	B	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価 コメント
-----	------	------	----	----	------------

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）					
<p>「資料の収集・保存や調査・研究によって新潟市の歴史的特性を明らかにし、展示や普及活動を通じて情報を発信」という基本理念に沿い、令和4年度も各種事業を実施した。</p> <p>企画展は、例年より開催回数を1本増やし、来館者数増に努め、中でも、令和4年度が大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年に当たることから、県内の博物館・資料館とのネットワークを生かすことで、大河津分水・関屋分水に関する企画展を6館連携でレイ展を開催し、広く情報を発信することができた。</p> <p>また、館内では企画展のほか、エントランスホールでもミニミニ展示や常設展の展示替えを行い、来館者が少しでも多く収蔵資料に触れることができるよう工夫を凝らした。館外では学芸員が外部講師を多数引き受け、博物館資料がもつ情報の発信や調査研究結果を少しでも広く地域社会に還元できるよう、力を入れた。</p> <p>ただ、ファンクラブ会員数は今年度も目標を達成できなかった。目標が現状に比べて高すぎるということも考えられるが、ファンクラブに加入する動機づけになるような魅力あるファンクラブ運営を検討することが必要かと思われる。</p> <p>結果的には、令和4年度は各種事業を幅広く実施することで、目標70,000人を上回る87,097人が来館した。</p>					

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）					
<p>令和4年度は目標を上回る入館者となっており、理由の1つに新型コロナウイルス感染状況が落ち着き人の動きが活発になったことが考えられるが、企画展の開催回数の増加や、常設展の展示替えなど博物館独自の集客対策も入館者が増加した要因と思われる。</p> <p>コロナ禍の影響で、地域連携事業としての「夕涼みコンサート」などを開催することができなかったが、代わりに地元出身の声楽家今井あい氏のクリスマスコンサートを1階エントランスホールで実施するなど、事業に対する創意工夫が見られた。</p> <p>今後も広報活動の充実等、幅広い集客対策を実施することを期待する。</p> <p>ファンクラブ会員数は毎年度目標を達成できていない状況であるため、魅力あるファンクラブ運営を検討してほしいが、歴史文化課としても会員数が増えるように広報等で協力していきたい。</p> <p>施設の老朽化が進んでいることから、安全面には特に注意し、適正な維持管理を行ってほしい。</p> <p>今後も感染防止対策を行いながら、特色ある企画展の開催や講演・講座の開催、市民交流の場を提供するなど、市民文化の向上と地域の活性化に役立ってほしい。</p>					

評価基準

- A 要求水準(=評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準(=評価指標)が達成されている。
- C 要求水準(=評価指標)が達成されていない。